

学校法人多摩美術大学の平成19年度(2007年度)の事業報告をとりまとめましたので、ご報告申し上げます。

1.事業の概況

グローバル化が進む今日の状況は、サブプライムローン問題に端を発した世界的な株安、ドル安および原油高が世界経済の不安定要因となっています。わが国の景気も一時上向き基調と言われていたものの、大企業の収益が大幅な減益となったり、一方では消費が伸びず、富裕層と低所得者層の格差がひろがりつつあります。

18才人口は平成20年(2008年)から120万人台が10年ほど続くと予測されています。私立大学の財政運営は大変厳しい時代に入っておりますが、いわばこの「踊り場」の時期に将来を見据えた大学の再構築・新たな体制をつくることが求められています。昨年の4年制私立大学559校のうちほぼ4割にあたる221校が定員割れを起しており、私立短大の定員割れ校数は前年より31校増え、初めて6割を超えました。大都市・大規模校への集中と、地方・小中規模校の不振という、大学の二極化が確実に進んでいます。まさに、国立大学、公立大学、私立大学が入り乱れて、大競争の時代に入っています。

こうした状況にあって、本学は、質の高い学生を集め、時代を先取りした教育を進めるため、建学の理念に基き、さらなる改革への取組みを進めています。

◎大学改革の推進

学長の任期満了にともない、平成19年度より清田義英新学長を中心とする新体制が構築され、大学基準協会の大学評価申請の準備作業に取組み、平成20年1月に申請し、受理されました。評価の結果は平成21年3月に発表されます。

また、美術学部生産デザイン学科の入学定員について八十五名から百名への定員増の認可申請を行い、受理されました。

研究資金の問題については、本学では6月に研究支援部を立上げ、昨年に引続き採択されました特色GP、現代GP、クレスト、新たに採択されました大学院GPなどの研究資金の管理体制を整えました。

さらに、産学共同研究をはじめとする本学の特色を生かした研究・教育に取組み、国際交流ではアメリカのアートセンターとパシフィック・リム・プロジェクトと呼ばれる共同研究、また大学院GP「異文化相互批評が可能にする高度人材育成」プロジェクトでは中国、韓国、フィンランドとの大学と講評会を行なっています。

◎管理運営面の改革推進

- 大学運営 大学の研究費不正受給が社会問題となったのを受けて、文部科学省より大学の補助金管理体制の整備が求められたのに対し、本学では6月に研究資金の管理部門として、研究支援部を立ち上げました。

◎施設整備

- 校舎等建設関係

八王子キャンパス新図書館、芸術学・情報デザイン棟が平成19年2月に竣工、LAN工事を実施し、4月から運用開始。デザイン棟の改修工事を実施。

4月に旧芸術学棟を解体し、跡地整備工事、植栽造園工事などを行いました。

6月に南側駐輪場につづく広場等の整備を行い、彫刻を設置。

八王子キャンパス東地区除害施設工事実施。12月完成。

八王子キャンパスに隣接する大栗川廃川部分埋め戻し工事を実施。

その他

◎当期に行った主な事業

- 八王子キャンパス整備事業完成・新図書館オープン祝賀会を開催。

新図書館および芸術学・情報デザイン棟等の竣工により、整備事業の概成を迎えたのを機に、記念式典、講演会、シンポジウム、祝賀会等を開催しました。

- 創立70周年記念事業資金募金(寄付金の継続募集)

平成17年10月に举行された本学創立70周年記念式典を機会に、記念事業推進の一助として寄付金を募集したもので、最終年度の平成19年度に約7,500万円の寄付があり、目標額の2億円を達成しました。

◎事務部門における主な事業

各事務部門における主な報告は以下の通りです。

企画広報部 ……高校、予備校等における説明会など広報の強化。動画サイトtamabi.tvの充実など。

教務部 ……大学院教育の国際化(国際講評会)、パンフィック・リムなど海外の大学との提携。教職免許法等の改正に伴う教職課程の再編成、入学試験方式の改善、全学科共通のPBL科目の充実。

研究支援部 ……外部研究資金の管理、文科省等への報告。部内体制構築等への取組み。

学生課 ……奨学金の拡充、留学生による語学講座、救急法講習、学生リーダーズキャンプの実施。

就職課 ……中期3ヵ年計画の2年目。就職支援プログラムの充実、教員との連携強化、人的環境の整備。

造形表現学部事務部 ……授業週数の拡充(36週から38週へ)。窓口受付時間の延長。新教務システム導入準備。

図書館 ……新図書館オープン。開館時間・日数の拡大により、入館者数が増加。カウンター業務委託実施。

美術館 ……年間7本の企画展。本学70周年記念「東方のイラストレーションポスター」展など。

メディアセンター ……産官学共同研究の推進。ネットワーク系サーバーの交換完了。施設の環境整備等。

芸術人類学研究所 ……研究プロジェクト4件。芸術人類学アーカイブ構築。特別講義のプロデュース等。

生涯学習センター ……年間134講座、受講生数3,681名。自治体、企業、高校等との連携講座実施。

平成19年度予算の執行状況

当期の予算執行状況について、概要を報告します。
なお、金額は千円未満を四捨五入して表示しています。

(1) 資金収支計算

資金収支計算について、その主な内容を報告します。

【資金収支計算総括表】

(収入の部)

(単位:千円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	7,731,800	7,807,842	△76,042
手数料収入	250,500	267,711	△17,211
寄付金収入	70,000	75,432	△5,432
補助金収入	430,650	672,037	△241,387
資産運用収入	77,700	125,067	△47,367
資産売却収入	800,000	1,015,271	△215,271
事業収入	72,700	126,387	△53,687
雑収入	72,450	103,040	△30,590
前受金収入	2,970,400	3,380,955	△410,555
その他の収入	1,724,012	1,984,577	△260,565
資金収入調整勘定	△3,406,486	△3,452,291	45,805
当年度資金収入合計(A)	10,793,726	12,106,028	△1,312,302
前年度繰越支払資金	5,332,947	5,332,947	0
収入の部合計	16,126,673	17,438,975	△1,312,302

センター試験利用による入学志願者数が見込みを上回ったことにより予算額を上回りました。

19年度に70周年記念事業資金(奨学基金含む)募金として法人16件、個人57名の方から合わせて74,982千円の寄付をいただきました。募金目標額2億円に対し法人99件165,970千円、個人969名35,508千円の合計201,478千円となり目標を達成しました。

私立大学経常費補助金604,417千円の他、大学改革推進等補助金「特色ある大学支援プログラム16,000千円」と「現代的な教育コース取組支援プログラム18,300千円」および「大学院教育改革支援プログラム18,700千円」や「政府開発援助外国人留学生修学援助費補助金12,628千円」等の交付により予算額を上回りました。

(支出の部)

科目	予算	決算	差異
人件費支出	3,745,900	3,585,114	160,786
教育研究経費支出	1,950,000	1,827,132	122,868
管理経費支出	408,500	345,329	63,171
借入金等利息支出	107,300	106,490	810
借入金等返済支出	595,400	595,390	10
施設関係支出	1,352,600	774,569	578,031
設備関係支出	1,088,900	848,000	240,900
資産運用支出	2,510,000	2,509,198	802
その他の支出	1,319,879	1,319,798	81
予備費	131,100	—	131,100
資金支出調整勘定	△296,204	△233,168	△63,036
当年度資金支出合計(B)	12,913,375	11,677,852	1,235,523
次年度繰越支払資金	3,213,298	5,761,123	△2,547,825
支出の部合計	16,126,673	17,438,975	△1,312,302

定期預金金利の上昇や短期有価証券での資金運用により予算額を上回りました。

新校舎等に係る業務の外注費用や光熱水費の増加およびPCソフトや周辺消耗品の増額、(旧)芸術学科棟解体費用等を見込みましたが予算額を下回りました。

八王子キャンパス、デザイン棟改修工事、新図書館、芸術学科・情報デザイン棟LAN工事。東地区除害施設設置、(旧)芸術学科棟解体跡地外構整備等を実施しました。

多摩美術大学奨学金の原資の一部である受取利息の増加を計るため、国債や財投機関債、政府短期証券を購入しました。奨学基金寄付金55,000千円を第3号基本金引当資産として設定しました。

当年度資金収支差額(A)-(B)	△2,119,649	428,176	△2,547,825
------------------	------------	---------	------------

(2) 消費収支計算

消費収支計算について、その主な内容を報告します。

【消費収支計算総括表】

(消費収入の部)

(単位:千円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	7,731,800	7,807,842	△76,042
手数料	250,500	267,711	△17,211
寄付金	70,000	77,896	△7,896
補助金	430,650	672,037	△241,387
資産運用収入	77,700	125,067	△47,367
資産売却差額	0	4,651	△4,651
事業収入	72,700	126,387	△53,687
雑収入	72,450	103,040	△30,590
帰属収入	8,705,800	9,184,631	△478,831
基本金組入額合計	△3,011,000	△2,978,912	△32,088
消費収入の部合計	5,694,800	6,205,719	△510,919

70周年記念事業資金(奨学基金含む)募金の他、現物寄付金として科学研究費補助金から購入されたPC関連機材2,464千円相当額の受贈がありました。

国債や財投機関債などの長期債券運用および政府短期証券(FB)、農林中金債券購入、大口定期預金などの短期運用の結果予算を上回りました。

科学技術振興機構「CREST」などの産学共同の受託研究収入および生涯学習講座の受講料が増加し予算を上回りました。

(支出の部)

科目	予算	決算	差異
人件費	3,814,000	3,587,359	226,641
教育研究経費	3,533,000	3,351,165	181,835
(うち減価償却額)	1,582,400	1,523,483	58,917
管理経費	541,700	466,578	75,122
(うち減価償却額)	133,200	121,248	11,952
借入金等利息	107,300	106,490	810
資産処分差額	253,000	248,375	4,625
予備費	402,700	—	402,700
消費支出の部合計	8,651,700	7,759,967	891,733

キャンパス整備の充実による建物や機器備品などの資産の増加とともに減価償却額が増額しています。

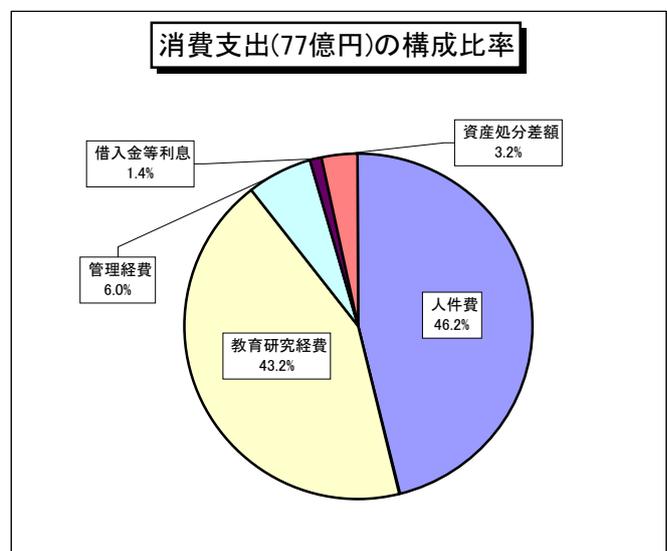
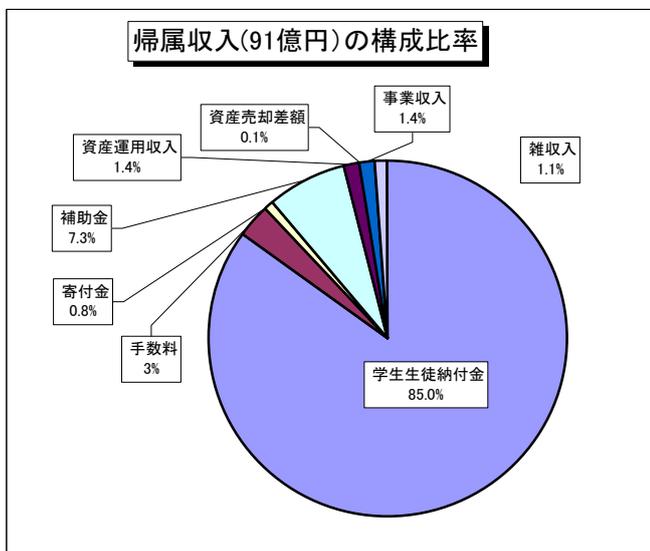
八王子キャンパス(旧)芸術学科棟解体や周辺外構設備の撤去、機器備品などの除却によるもの。

上記の結果、帰属収入は479百万円予算を上回り、帰属収支差額比率は15.5%になりました。これは次年度以降も継続される施設整備計画の資金として充当されます。当年度の消費支出超過額は△1,554百万円とH14年度から6年連続の支出超過となり、その繰越消費支出超過額は△6,704百万円になりました。この多額の消費支出超過額は、自己資金による施設設備充実の結果生じた多額の基本金組入額によるもので、中長期的には消費支出超過額を解消し消費収支の均衡が図られる運営をめざします。

帰属収支差額(注1)	54,100	1,424,664	△1,370,564
帰属収支差額比率(注2)	0.6%	15.5%	—
当年度消費支出超過額	△2,956,900	△1,554,248	—
前年度消費支出超過額	△5,149,588	△5,149,588	—
翌年度繰越消費支出超過額	△8,106,488	△6,703,836	—

注1 帰属収支差額=帰属収入-消費支出

注2 帰属収支差額比率=帰属収支差額÷帰属収入×100



(3) 貸借対照表

貸借対照表について、前年度からの増減を報告します。

(資産の部) (単位:千円)

科目	H19年度末	H18年度末	増減	
資 産	固定資産	54,205,438	55,130,210	△924,772
	有形固定資産	42,471,617	42,752,306	△280,689
	その他の固定資産	11,733,821	12,377,904	△644,083
流動資産	6,317,745	5,585,388	732,357	
合計	60,523,183	60,715,598	△192,415	

八王子キャンパス(美術学部)
土地—大栗川廃川部分埋め戻し工事。
建物—新図書館、芸学・情報デザイン棟LAN工事、
デザイン棟改修他。除却=(旧)芸術学科棟
構築物—東地区除害施設設置、(旧)芸術学科
棟解体跡地整備他。
教育研究用機器備品
美術学部=新図書館開架書架、雑誌テーブル他。
造形表現学部=MacProCTO41台、iMac82台他。

(負債の部・基本金の部・消費収支差額の部)

科目	H19年度末	H18年度末	増減	
負 債	固定負債	5,052,875	5,646,020	△593,145
	流動負債	4,399,881	5,423,815	△1,023,934
	計	9,452,756	11,069,835	△1,617,079
基 本 金	第1号基本金	53,987,353	52,563,441	1,423,912
	第2号基本金	3,000,000	1,500,000	1,500,000
	第3号基本金	338,910	283,910	55,000
	第4号基本金	448,000	448,000	0
	計	57,774,263	54,795,351	2,978,912
消費収支差額	△6,703,836	△5,149,588	△1,554,248	
負債、基本金、消費収支差額の部合計	60,523,183	60,715,598	△192,415	

資産運用のための長期有価証券は満期償還により6億円減少、長期定期預金16億円は減価償却引当預金へ移動。多摩美術大学施設整備資金引当資産(第2号基本金引当資産)が15億円、第3号基本金引当資産が55百万円増加しましたが残高は減少しました。

現金預金は428百万円増加、有価証券(政府短期証券3億円他)4億円増加、未収入金は1億円減少しましたが流動資産は増加しました。

借入金返済により負債は減少しました。

期末未払金が減少しました。

平成19年度自己資金による固定資産の新規取得や過年度の固定資産取得にかかる借入金返済額相当を基本金へ組入れました。

(参考)

正味資産額	51,070,427	49,645,763	1,424,664
-------	------------	------------	-----------

※正味資産=資産-負債

減価償却額の累計額	11,957,342	11,086,863	870,479
基本金未組入額	490,115	1,605,677	△1,115,562

貸借対照表についてH17年度～H15年度を報告します。

(資産の部) (単位:千円)

科目	H17年度末	H16年度末	H15年度末	
資 産	固定資産	50,648,394	47,554,848	42,753,426
	有形固定資産	38,219,598	38,124,640	36,902,022
	その他の固定資産	12,428,796	9,430,208	5,851,404
流動資産	7,488,416	9,384,007	12,329,549	
合計	58,136,810	56,938,855	55,082,975	

(負債の部・基本金の部・消費収支差額の部)

科目	H17年度末	H16年度末	H15年度末	
負 債	固定負債	6,271,719	6,917,950	7,505,837
	流動負債	4,458,054	4,235,344	3,947,212
	計	10,729,773	11,153,294	11,453,049
基 本 金	第1号基本金	47,628,567	45,683,198	42,984,571
	第2号基本金	2,200,000	1,500,000	1,500,000
	第3号基本金	233,910	233,910	212,734
	第4号基本金	439,000	435,000	435,000
	計	50,501,477	47,852,108	45,132,305
消費収支差額	△3,094,440	△2,066,547	△1,502,379	
負債、基本金、消費収支差額の部合計	58,136,810	56,938,855	55,082,975	

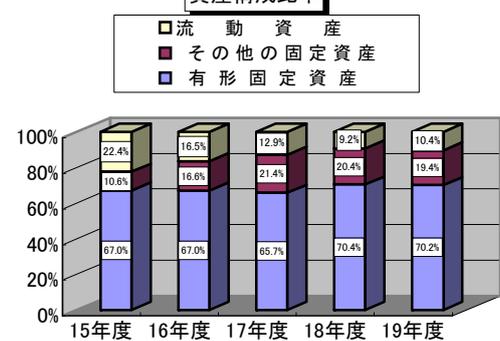
(参考)

正味資産額	47,407,037	45,785,561	43,629,926
-------	------------	------------	------------

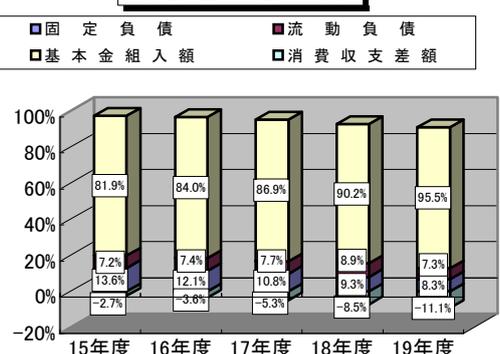
※正味資産=資産-負債

減価償却額の累計額	9,806,023	9,118,662	8,092,860
基本金未組入額	999,327	1,562,378	2,015,642

資産構成比率



負債、基本金、収支差額構成比率



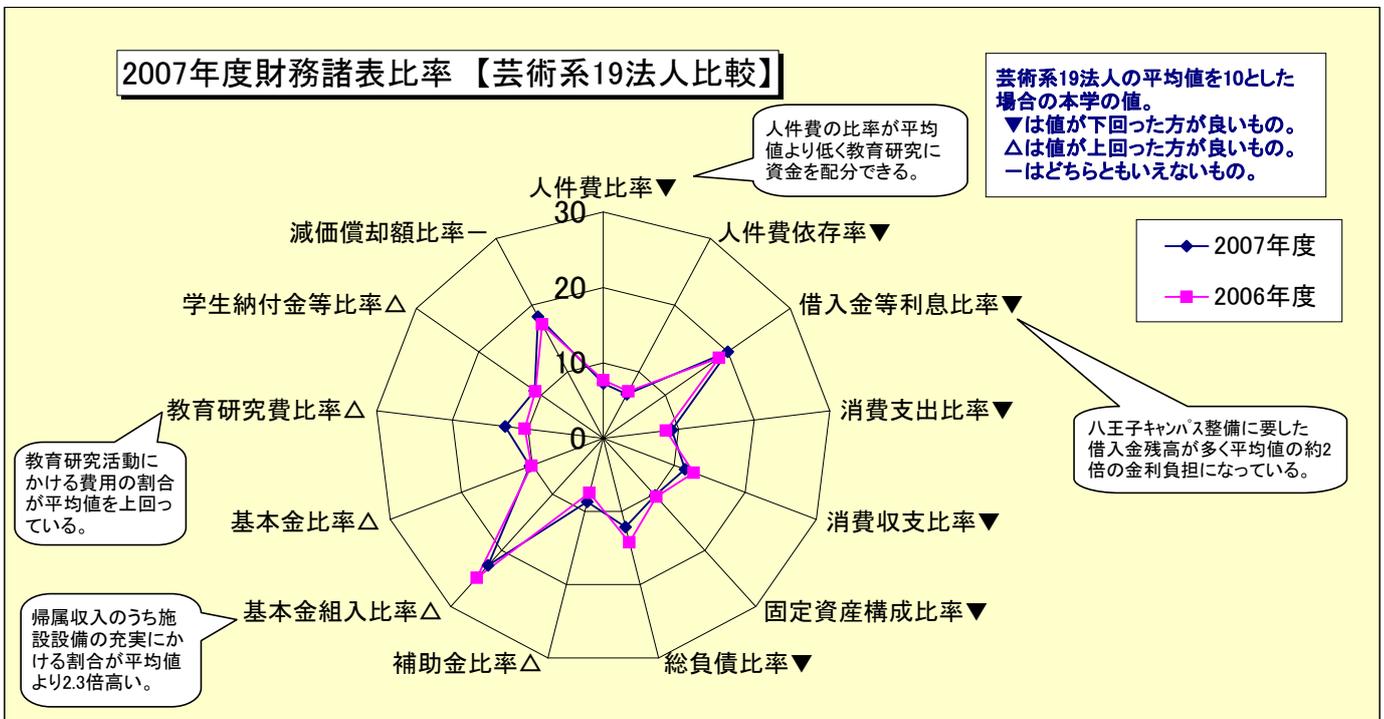
(4)財務比率<平成2001年度から平成2007年度>

※芸術系平均値は、日本私立学校振興・共済事業団編【今日の私学財政】平成19年度版より算出しました。

項目	算式	評価	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	芸術系平均値
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	▼	39.8%	39.6%	40.3%	38.9%	40.5%	40.4%	39.1%	53.8%
人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生納付金}}$	▼	46.3%	46.2%	46.9%	45.2%	47.3%	46.9%	45.9%	69.7%
借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金利息}}{\text{帰属収入}}$	▼	2.1%	1.9%	1.9%	1.7%	1.5%	1.3%	1.2%	0.6%
消費支出比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	▼	73.6%	72.8%	72.6%	76.2%	82.3%	75.4%	84.5%	93.0%
消費収支比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$	▼	94.8%	100.3%	145.3%	111.7%	115.8%	143.0%	125.0%	108.6%
固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	▼	74.1%	74.3%	77.6%	83.5%	87.1%	90.8%	89.6%	87.8%
総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	▼	21.6%	22.4%	20.8%	19.6%	18.5%	18.2%	15.6%	12.9%
補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{帰属収入}}$	△	6.5%	6.2%	6.5%	5.4%	6.6%	6.1%	7.3%	8.4%
基本金組入比率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{帰属収入}}$	△	22.4%	27.4%	50.0%	30.0%	29.0%	47.3%	32.4%	14.3%
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金組入額}}$	△	96.0%	93.9%	95.7%	96.8%	97.9%	97.0%	99.1%	96.0%
教育研究費経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	△	23.6%	26.7%	26.3%	29.2%	34.7%	29.1%	36.5%	28.1%
学生納付金等比率	$\frac{\text{学生納付金}}{\text{帰属収入}}$	△	86.0%	85.8%	86.0%	86.2%	85.6%	86.0%	85.0%	77.2%
減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{消費支出}}$	—	15.7%	16.4%	17.6%	19.3%	25.2%	20.5%	21.2%	11.6%

【比率分析】

人件費比率＝帰属収入に対する人件費割合を示す重要な比率で低い方が望ましい。
 人件費依存率＝学生納付金に対する人件費割合で一般的には低い方が望ましい。
 借入金等利息比率＝低い方が良い。本学は八王子キャンパス整備の際の借入金残高が多く平均値を上回っている。
 消費支出比率＝人件費や管理経費、教育研究経費などで消費された比率で低いほど安定し自己資金は充実する。
 消費収支比率＝消費収入に対する消費支出の割合で低い方が良く比率が100%を超えると支出超過(赤字)となる。
 固定資産構成比率＝総資産に占める固定資産の割合で低い方が良い、比率が特に高い場合は流動性に欠ける評価。
 総負債比率＝低い方が良い。総資産に対する他人資金の割合、50%を超えると負債総額が自己資金を上回る。
 補助金比率＝私立大学等経常費補助金の配分方法見直し、GPなど競争的補助金の積極的な取り組みにより増加。
 基本金組入比率＝高い方が良いとされる。長期に亘る八王子キャンパス整備により組入れ比率が高水準。
 基本金比率＝基本金組入対象(教育研究用)資産の自己資金取得による割合で高い方が良い。
 教育研究費経費比率＝帰属収入に対する教育研究活動費用の割合で高い方が良い。
 学生納付金等比率＝帰属収入の中で最もウエートが高く安定推移が良い。学費のみに依存しない体制作りが重要。
 減価償却額比率＝将来、資産の更新時に必要である。実質的には消費されずに留保される資金。



【まとめ】

平成19年度末における本学の財政状況は、永年に亘り多額の資金を要した八王子キャンパス整備実施の際に日本私立学校振興・共済事業団を中心に資金を借り入れたことから総負債比率が若干高はありますが、負債を返済するための資金ストックおよび毎年度の帰属収支差額に不足なく、今後とも安定的な運営資金が十分確保されております。

5.法人の概要

設置する学部学科の名称および入学定員と学生数

【大学・学部】

キャンパス	学部	学科	専攻・コース	入学定員	収容定員	学生数
八王子	美術学部	絵画学科	日本画	190	722	(153)
			油画			849
			版画			(550)
		彫刻学科		30	120	140
		工芸学科	陶	60	240	256
			ガラス			
			金属			
		グラフィックデザイン学科		180	652	752
		生産デザイン学科	プロダクトデザイン	85	310	(193)
			テキスタイルデザイン			(184)
環境デザイン学科		80	300	360		
情報デザイン学科	情報芸術 情報デザイン	120	480	534		
芸術学科		55	220	258		
小計		800	3044	3526		
上野毛	造形表現学部	造形学科		40	160	182
		デザイン学科		100	400	438
		映像演劇学科		60	240	276
		小計		200	800	896
合計				1,000	3,844	4,422

カッコ内は専攻の内数

【大学院】

キャンパス	研究科	専攻	研究領域	入学定員	収容定員	学生数
八王子 及び 上野毛	美術研究科 (博士前期課程)	絵画専攻	日本画	60	120	124
			油画			
			版画			
		彫刻専攻		12	24	14
		工芸専攻		10	20	23
		デザイン専攻	グラフィックデザイン プロダクトデザイン テキスタイルデザイン 環境デザイン 情報デザイン コミュニケーションデザイン	45	80	84
	芸術学専攻		7	14	15	
小計		134	258	260		
(博士後期課程)	美術専攻		7	21	27	
合計				141	279	287

総計				1,141	4,123	4,709
----	--	--	--	-------	-------	-------

平成19年5月1日現在

所在地

- 法人本部・造形表現学部・大学院
〒158-8558 東京都世田谷区上野毛3-15-34
- 美術学部・大学院
〒192-0394 東京都八王子市鍵水2-1723
- 美術館
〒206-0033 東京都多摩市落合1-33-1

役員・評議員・教職員の概要

【役員】

理事長	藤谷 宣人
理事(学長)	清田 義英
理事	岩倉 信弥
理事	大津 英敏
理事	東海林 隆
理事	高橋 史郎
理事	竹田 光幸
理事	中島 祥文
理事	本江 邦夫
監事	飛鳥田 一朗
監事	森 三千郎

【評議員】

評議員	荒川 直
評議員	五十嵐 威暢
評議員	伊藤 孚
評議員	岩倉 信弥
評議員	大津 英敏
評議員	清田 義英
評議員	高橋 史郎
評議員	田口 敦子
評議員	竹田 光幸
評議員	鶴見 雅夫
評議員	中島 祥文
評議員	中野 嘉之
評議員	橋本 京子
評議員	秦 剛平
評議員	平出 隆
評議員	福島 勝則
評議員	藤谷 宣人
評議員	室越 健美
評議員	本江 邦夫
評議員	森下 清子
評議員	山中 玄三郎

【教職員の概要(専任)】

大学教員	172名
職員	160名

平成19年5月1日現在